

部 局	こども未来部	補 職	部 長	氏 名	こども未来部長
-----	--------	-----	-----	-----	---------

1. 部局の使命

- 子どもが夢や希望をもてるまち、安心して子育てできるまちをめざして、子育て・子育て施策を総合的に企画・調整・実施する。
 ○すべての子どもたちの人権が守られ、健やかに育つまちをめざして、社会的援助を必要とする子どもへの支援に取り組む。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>○「豊中市子ども健やか育み条例」の趣旨に則した「子ども一人ひとりが健やかに育ち、そして、子どもや子育て家庭に関わるすべての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会の実現」に向け、子どもの人権尊重をすべての取り組みの基礎に行動計画に掲げた「子育て支援」「子育て支援」「安心安全なまちづくり」を柱とした施策・事業を総合的・計画的に取り組めます。</p> <p>①今日的な課題に対応するとともにさらなる施策の充実に向け、子育て・子育て支援行動計画（第2期）を策定します。 ・「子どもの未来応援施策に関する基本的な考え方」に基づき、貧困を含む社会生活を円滑に営む上での困難を有する子どもへの総合的な支援に取り組めます。 ・「豊中版子育て安心プラン」に基づき、保育定員確保による待機児童ゼロ維持や教育・保育の質の確保、幼児教育・保育の無償化、多様な子育てニーズへの対応に着実に取り組めます。 ・「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画の具体化として第一期（南部）年次計画を進めるとともに、公立認定こども園のあるべき4つの機能を踏まえ、子育て支援機能の強化に取り組めます。 ・こども総合相談窓口（子ども家庭総合支援拠点）を中心に、関係部局・機関と連携し、子どもや子育て家庭にかかる切れ目のない相談をより進めます。</p> <p>②「障害のある子どもへの支援の基本的な考え方」に基づき、児童発達支援センターを中核とした発達支援・療育の充実のためのしくみづくりを進めます。</p>	<p>①子どもを含む市民からの意見聴取や福祉、保健、教育その他の関係機関との議論をふまえ、第2期子育て・子育て支援行動計画を策定しました。</p> <p>②子どもの居場所づくりや支援者の養成を進めるとともに、地域の居場所団体や学校園、行政機関等で構成する「こどもまんなか円卓会議」を開催し、現状認識を共有しながら今後5年間のロードマップを作成しました。</p> <p>③保育所等の新規整備などにより待機児童ゼロを維持や、教育保育環境ガイドラインの周知などによる教育・保育の質の確保、早期からの周知などによる幼児教育・保育の無償化の実施に取り組むとともに、多様な子育てニーズに機動的に対応するため、「豊中版子育て安心プラン」の中間見直しを行いました。</p> <p>④第1期（南部）年次計画を策定し、南部地域における公立こども園の統合スケジュールを示すとともに、公立こども園再整備計画（前期）を策定し公立認定こども園6園の再整備の考え方をとりまとめました。また、地域子育て支援センターとほっぺとの役割分担を整理し、新たに連携園の取組みを進めるなど充実を図りました。</p> <p>⑤相談窓口関係機関によるこどもの相談支援ネットワーク会議を開催し、関係機関との連携の強化に取り組めました。またこども園や小中学校訪問を通じ、こども総合相談窓口や要対協への理解促進を図りました。</p> <p>⑥児童発達支援センターを中心として、関係機関とのアセスメント表の共有や巡回相談の実施による相談窓口への接続、支援者を対象とした研修会の実施などによる支援の質の向上に取り組めました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>子育て・子育て支援行動計画の推進と第二期計画の策定</p> <p>○子どもを取り巻く現状と子育て家庭の多様なニーズを的確に把握し、さらなる施策の充実に向け、子育て・子育て支援行動計画（第2期）を策定します。</p> <p>＊第1期行動計画における取組みの総括及び重点施策の再整理 ＊就学前教育・保育や地域子ども・子育て支援事業のニーズの的確な分析及び確保策策定</p> <p>○子どもの意見表明の機会を拡充し、子どもの社会参加を進めます。 ＊子どもワークショップの実施 ＊第2期行動計画素案に対し、中学生による意見交換会の開催</p> <p>○第2期行動計画の策定 4月～6月：ヒアリング、7月：審議会諮問、7～8月：子どもWS、11月：審議会答申、12月～1月：パブリックコメント意見交換会の開催、3月下旬：策定</p>	<p>○平成30年度（2018年度）に実施した市民ニーズ等調査（延べ4,669人）やヒアリング・市民懇談会（延べ436人）などにより、子どもを取り巻く現状と子育て家庭の多様なニーズを分析し、計画に反映しました。</p> <p>○こども審議会や庁内会議での議論を通じ、第1期行動計画における取組みの総括や重点施策の再整理を行い、子育て・子育て支援行動計画（第2期）を策定しました。</p> <p>○こどもの居場所をテーマとした夏休みこどもワークショップや小中学校への出前講座を実施し、子どもの意見表明の機会を設けました</p>	<p>○第2期計画の推進のため、関係機関と連携し、新たな施策検討など子育て支援の充実を進めます。</p> <p>○計画に包含された法定計画についても、適切に進行管理を行います</p> <p>○引き続き子どもヒアリングやワークショップを開催し、子どもの社会参加機会の提供を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>1-1-① 産前・産後の切れめない支援を進めます。</p> <p>1-2-① 保育や幼児教育の充実を進めます。</p> <p>基本政策</p> <p>1 子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）</p>	<p>1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。</p> <p>1-3-① 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します。</p>	

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>子どもの未来応援施策の推進</p> <p>○子どもの居場所づくり推進プロジェクトとして、居場所事業の役割整理を行うとともに、地域全体で子どもを応援するしくみについて検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域特性に応じた居場所ネットワークのモデル検討(4か所) * 多様な主体が参画・協働できるしくみの検討 * 支援者等の養成、発掘(支援者同士の連携等につながる講習会の開催) <p>○子どもの居場所づくりネットワーク事業 4月：委託、7月：しくみ検討、3月：総括</p>	<p>○子どもの居場所づくり推進プロジェクトとして庄内西・野田・庄内・原田・螢池・新田の6小学校区で地域特性に応じた居場所ネットワークのモデル検討を行いました</p> <p>○地域の居場所団体や学校園、行政関係機関など多様な主体が参画する「こどもまんなか円卓会議」を開催し現状認識の共有と協働の政策立案などを行いました。</p> <p>○子どもの居場所支援ボランティア連続講座(延べ約100人参加)を行い支援者の養成等を行いました</p> <p>○今後5年間のロードマップを策定しました。</p>	<p>○子どもの未来応援施策を着実に推進するため、円卓会議などを活用し、公民協働でロードマップに基づく取組みを進めます。</p> <p>○子ども食堂など、子どもの居場所が安定的・継続的に運営できる仕組みについて検討します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>3 子どもの未来応援施策の推進</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>待機児童ゼロ維持と教育・保育の質の確保（豊中版子育て安心プランの推進）</p> <p>○今後の保育需要の増大に対応し女性の活躍・就業率の向上に資するため、待機児童ゼロを維持し子育てしやすい環境を整備します。 *約1,000人分の保育定員の確保（～平成33年（2021年）4月）（民間事業者による新規整備・私立幼稚園の認定こども園化の推進・一時保育事業の活用）4～10月 保育運営事業、4月 北部一時保育事業 *子育て支援コーディネーターによる出張相談の充実 年間30回 *利用者の視点に立った利用調整基準の見直しや入所選考へのAIの活用検討（平成32年度（2020年度）導入 目途）～6月 利用調整基準見直し ～10月 AI活用に向けた検証</p> <p>○公民が連携し、すべての子どもが質の高い幼児教育・保育を受けるしくみの充実に取り組みます。 *保育士応援手当、保育士歓迎一時金の創設による民間園の保育人材の確保支援 *幼児教育サポートセンター設置及び幼児教育アドバイザーによる巡回支援等の実施：6月 開設 *「豊中市教育保育環境ガイドライン」を活用した環境（物的・人的）評価の実施（公立・民間施設）：4月 周知、実施 *園評価の公表のしくみ検討</p>	<p>○保育所等の整備を進め、令和2年（2020年）4月1日までに約400人分の保育定員を確保することで、待機児童ゼロを維持しました。</p> <p>○令和3年（2021年）4月に向けた整備を進めるとともに、保育定員確保緊急対策事業を創設しました。</p> <p>○子育て支援コーディネーター連絡調整会議を6回開催し、利用者支援事業の充実を図りました。</p> <p>○AI導入に向け、他市への照会や視察を実施し、令和2年度からの導入を決定しました。</p> <p>○保育士応援手当（実績4件）、保育士歓迎一時金（実績1件）を開始しました。</p> <p>○幼児教育サポートセンターの設置（6月）や、小規模施設・保育園への巡回指導による「豊中市教育保育環境ガイドライン」の周知などを行い、教育・保育の質の向上を図りました。</p> <p>○子育て安心プランについては、ニーズ等調査に基づき、保育定員確保等の中間見直しを行いました。</p> <p>○令和2年（2020年）1月にファミリーマートと待機児童解消施策など子育て・子育て支援に関する連携協定を締結しました。</p>	<p>○子育て安心プラン中間見直しで設定した保育定員確保目標量（令和6年（2024年）4月までに1,000人）の確保及び3歳児の引き上げに対応するため、保育定員確保緊急対策事業を令和6年度（2024年度）を目途に推進します。</p> <p>○令和3年（2021年）4月入所選考を目途に、AI導入をめざし利用調整基準見直しやシステム開発等に取り組みます。</p> <p>○保育士応援手当、保育士歓迎一時金の実績を検証し、さらなる活用について検討します。</p> <p>○幼児教育・保育のさらなる質の向上に向け、教育保育環境ガイドラインの活用や周知を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。</p> <p>1-2-① 保育や幼児教育の充実を進めます。</p> <p>基本政策</p> <p>1 子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）</p>	<p>1-1-③ 地域で妊産婦および乳幼児期の親子を支えるしくみづくりを進めます。</p> <p>1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。</p>	

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>幼児教育・保育の無償化の実施（豊中版子育て安心プランの推進）</p> <p>○すべての子どもに幼児教育・保育を保障するため、10月からの幼児教育・保育の無償化の実施に取り組めます。</p> <p>＊無償化に伴う詳細の検討、内容整理 （一時預かり事業・給食費実費負担・認可外保育施設にかかる課題整理、対応検討（条例改正など））</p> <p>＊市民、事業者に対する丁寧な情報発信</p> <p>＊保育ニーズの増加を見据えた保育士確保策の実施（3. 再掲）</p> <p>○幼児教育・保育の無償化 ～6月 詳細検討 7月 市民周知 10月 実施</p>		<p>○国からの通知に基づき、関係課間で幼児教育・保育の無償化の実施に向けて、保育料や給食費などの本市における運用を定めました。</p> <p>○また、事業者向け説明会（6月実施）や市民へのリーフレット配布（8月広報への挟み込み）による丁寧な情報提供を行いました。</p> <p>○システム改修などの課題については、Excelの活用など代替措置を講じ円滑に制度を開始しました。</p>	<p>○幼児教育・保育の無償化の制度が複雑であるため、利用者へのわかりやすい情報発信を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。</p> <p>1-2-① 保育や幼児教育の充実を進めます。</p>			
<p>基本政策</p> <p>1 子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）</p>				

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>公立こども園再整備計画の推進</p> <p>○「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画に基づき、第1期(南部)年次計画と再整備計画を着実に進めます。 *第1期(南部)年次計画の策定及び保護者・地域説明会の実施 *公立こども園再整備計画(前期)の策定(再整備)及び実施に向けた調整(老朽化対策、災害時や地域特性を活かした施設機能及び付加価値の検討など)</p> <p>○「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画 5月 第1期(南部)年次計画策定・公表 6月 説明会開催 6月 公立こども園再整備計画(前期)策定</p>		<p>○令和元年(2019年)5月に第1期(南部)年次計画を策定し、説明会を実施しました(5か所6回)。</p> <p>○令和元年(2019年)5月に、公立こども園再整備計画(前期)策定支援業務の報告を受け検討を行い令和2年(2020年)1月に策定しました。</p> <p>○原田、てらうちこども園の再整備に向けた整備手法の検討を進め、DB方式によるプロポーザル事業者選定に向け、要求水準書などの作成に取り組みました。</p>	<p>○公立こども園再整備計画(前期)のスケジュールに基づいた取り組みを進めるため、業者選定の実施を行うとともに、園の工事期間中の教育・保育の円滑な実施に向けた調整を行います。</p> <p>○残る4園の整備手法やスケジュール等について、先行して実施する2園を参考にしながら、具体的な検討を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>1-2-① 保育や幼児教育の充実を進めます。</p> <p>1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。</p>			
<p>基本政策</p> <p>1 子育て安心プランの策定・推進 (幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援)</p>				

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>児童相談・虐待防止の強化</p> <p>○こども総合相談窓口（子ども家庭総合支援拠点）の機能を最大限発揮するため、関係機関との連携や支援体制の強化に取り組みます。 *スーパーバイザーによる実践的な助言指導や研修会及び意見交換会の実施 *「とよなかつ子ダイヤル（こども専用フリーダイヤル）」の積極的な周知、活用 *豊中市子どもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）への調整担当者の専任配置による運営強化 *子育て支援センターほっぺにおける専門職（保育教諭、社会福祉職、心理職）集中化によるハイリスク家庭へのアプローチの拡充 ○地域や関係機関に社会的養護の理解を深めてもらう取組みを通して、虐待防止の周知・徹底を図り、地域で一体となって子どもを守る風土を醸成します。 *児童養護施設と連携した地域・関係機関向け研修会の開催：5～6月、8～9月 *ショートステイ事業の里親への委託の調査・研究 *出前講座の積極的活用による周知</p>	<p>○スーパーバイザーによる実践的な助言指導や電話相談研修会を毎月実施しました。</p> <p>○リーフレットやカード、ポスターなどを子ども食堂や学習スペースなどに配布し、とよなかつ子ダイヤルの周知を図りました。</p> <p>○要保護児童対策地域協議会への調整担当者の選任配置や、運営会議の毎月開催（3か月に1度全ケース見直し）、こども園や小学校への訪問による周知を行い、運営体制の強化を図りました。</p> <p>○育児支援家庭訪問事業については全ケースの支援方針会議を実施するなど重点的に取り組みました。</p> <p>○児童養護施設と連携し、主任児童委員やファミリーサポート会員を対象とした研修会を開催しました</p> <p>○ショートステイ事業の里親への委託に向けて、児童養護施設と池田子ども家庭センターと協議を行うとともに、8月に先進都市（川西市）への視察を行いました。</p> <p>○いじめ・虐待を許さないまちづくりを進めるため、教育委員会とともに、具体的な取組を検討しました。</p>	<p>○いじめや虐待を許さないまちづくりの取り組みを教育委員会と連携し進めます。</p> <p>○児童虐待の未然防止を図るため、育児支援家庭訪問の質の向上と訪問対象年齢の引き上げを行います</p> <p>○多胎児家庭を支援するため、家事支援の実施に向けた調査研究を進めます。</p> <p>○社会的養護の理解促進のため、児童養護施設や民間団体の活動の周知を行います。</p> <p>○ショートステイ事業の里親への委託に向けて、課題の整理を行い、本市における事業モデルの検討を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>発達支援・療育の充実</p> <p>○新たな児童発達支援センターにおいて、初期相談などの地域支援機能や診療所機能を強化し、子どもの発達や特性に応じた療育の充実を図ります。</p> <p>* 関係機関とのアセスメント表の共有 4月発達特性チェックシート試行 9月事業所研修会で周知</p> <p>* 専門医療機関との連携のしくみ構築</p> <p>* 保護者支援の推進（小集団親子教室の充実、ペアレントトレーニングの検討、障害児・きょうだい児の一時預かり事業の実施）</p> <p>* 支援者研修の対象拡大（小中学校教諭、スクールカウンセラー）：7月</p> <p>○障害児通所給付費のより適正な支給決定に取り組めます。</p> <p>* 「障害児通所支援の支給決定及び相談支援の基本的な考え方」を明示し、運用を開始</p> <p>○新たに設置する豊中市医療的ケア児支援連絡会議において、関係機関の連携に関する仕組みの構築に向け、検討を進めます。</p> <p>* 連携に係る仕組みの構築に向けた協議（平成32年度（2020年度）とりまとめ）</p>	<p>○関係機関と発達特性チェックシートの試行や発達アセスメント表についての意見交換を行うとともに市内民間事業者（10月）や支援者（12月）に周知を図り、アセスメント表の共有を進めました。</p> <p>○専門医療機関にセンターの事業周知を行い、センターの診療所機能との役割分担を検討しました。</p> <p>○小集団親子教室の対象拡充や子育て発達支援プログラムの実施など保護者支援の推進を図りました。</p> <p>○発達支援・障害児支援者対象研修を小中学校教員等に対象を拡大し実施しました。</p> <p>○障害児通所給付費のより適正な支給決定に向けて、市内事業者に療育内容や支給量、他機関との連携について意見聴取を行いました。</p> <p>○医療的ケアが必要な子どもへの支援に向けた支援者間の連携の仕組みの構築に向けて、豊中市医療的ケア児支援連絡会議を年3回実施するとともに、保護者家族への聞き取り調査を2月から3月にかけて実施しました。</p>	<p>○効果的に活用できる発達特性チェックシートとなるよう、見直しを進めます。</p> <p>○発達に支援の必要な子どもへの理解を進めるため小集団親子教室と個別療育「カラフル」と連携した事業展開などを進めます。</p> <p>○支援者研修について、より効果的に実施するため、支援者のニーズをふまえたテーマ設定など、内容を充実します。</p> <p>○障害児通所給付費のより適切な支給決定のため、意見聴取した内容を取りまとめ、支給決定における考え方を市内事業者に周知し運用していきます。</p> <p>○医療的ケア児の実態を把握するため、アンケート調査を行い、仕組みの構築を進めます。</p>
総合計画			
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。		
基本政策			
	4 児童発達支援の充実（児童発達支援センターの設置など）		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	<p>子育て家庭支援の充実</p> <p>○子育て支援センターほっぺを中心とした重層的な支援体制により、セーフティネット機能を強化するとともに、市域全体の子育て支援の充実を図ります。</p> <p>＊こんにちは赤ちゃん事業の委託化による面談率のさらなる向上：5月</p> <p>＊母子保健事業と連携した子育て世代包括支援センターの機能強化の取組み</p> <p>＊利用者アンケートの実施によるより効果的な情報発信の検討、実施：10月</p> <p>○ひとり親家庭支援施策の充実のため、ひとり親家庭のアンケート調査及び現状の課題把握を行い、ひとり親家庭等自立促進計画を策定します。8月アンケート調査 3月計画策定</p>	<p>○こんにちは赤ちゃん事業を委託し面談率が平成30年度（2018年度）94.6%から令和元年度（2019年度）96.8%に向上しました。</p> <p>○子育て世代包括支援センターの機能強化について、保健師との交流会を実施しました。</p> <p>○子育て支援情報の効果的な情報発信について、市ホームページの見直しを行いました。また、子育て応援団の登録事業者に子育て支援事業にかかるチラシやカード等の配架を実施しました。</p> <p>○子育て支援の情報提供のため、パワーポイントを作成し3月から第1庁舎1階市民課窓口で発信を開始しました。</p> <p>○8月にひとり親家庭のアンケートを実施し、それに基づきひとり親家庭等自立促進計画の見直しを行いました。</p> <p>○養育費確保にかかる支援を強化するため、明石市への視察や大阪市へのヒアリングなどにより、事業内容の検討を行いました。</p>	<p>○こんにちは赤ちゃん事業の団体委託化を行い、市内事業者や訪問員、主任児童委員との連携を図りながら、面談率の維持と効果的な事業展開を進めます。</p> <p>○子育て世代包括支援センターの各機関の役割を明確にするため、保健師など関係者との具体的な取組について協議を進めます。</p> <p>○子育て情報ポータルサイト「とよふあみ」の利用促進や子育て支援情報紙などの見直しを行い、より効果的な情報発信を進めます。</p> <p>○ひとり親家庭への具体的な支援策として、養育費確保に向けた保証事業を開始します。</p> <p>○母子父子福祉センターの次期指定管理委託の事業者選考を行います</p> <p>○多胎児家庭を含めた子育て家庭支援のさらなる取り組みを検討します。</p>
	総合計画		
	1-1-① 産前・産後の切れめない支援を進めます。	1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。	
	1-1-③ 地域で妊産婦および乳幼児期の親子を支えるしくみづくりを進めます。	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。	
基本政策			
1	子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
9	<p>子ども医療費助成の拡充</p> <p>○11月からの18歳までの対象年齢拡大に向け、医療機関や市民への周知及び新医療証の交付等を行い、円滑に事業を開始します。</p> <p>○子ども医療費助成拡充</p> <p>6月 医療機関への周知</p> <p>10月 新医療証交付</p> <p>11月 対象拡大</p>	<p>○8月に医療機関にポスターや案内文を送付するとともに、10月に広報とよなかに情報を掲載し、市民や関係機関に丁寧な周知を行いました。</p> <p>○10月下旬に対象者に医療証及び案内文を送付し、11月1日から対象年齢を18歳に拡充しました。</p>	<p>○子ども医療費助成の対象者が、助成を受けることができるよう引き続き適正な制度運用を進めます。</p>
総合計画			
	1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。		
基本政策			
	2 子どもの医療費助成の拡充		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	「豊中市子ども健やか育み条例」に則した行動計画に基づく施策の推進 ○子ども施策を総合的・継続的に推進するため、関係部局の連携のあり方について、実効性のあるものとなるよう常に見直しを行いながら、計画的に取り組めます。	平成32～35年度 (2020～2023年度) ・第2期行動計画施策の推進、進行管理
	総合計画	
	1-1-① 産前・産後の切れめのない支援を進めます。	1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。
	1-2-① 保育や幼児教育の充実を進めます。	1-3-① 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します。
	基本政策	
1	子育て安心プランの策定・推進 (幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援)	
2	子どもの未来応援施策の推進 ○子どもの未来応援のため、学校を核としたセーフティネットのしくみと、官民協働での重層的な居場所ネットワークを構築します。	平成32～35年度 (2020～2023年度) ・段階的な居場所ネットワークの構築
	総合計画	
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。	
	基本政策	
	1	子育て安心プランの策定・推進 (幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
3	<p>待機児童ゼロの維持をはじめとする豊中版子育て安心プラン推進</p> <p>○平成34年度(2022年度)までの実施計画「豊中版子育て安心プラン」を着実に実施し、引き続き待機児童ゼロの維持をはじめ子育て・子育て支援の充実に努めます。</p>	<p>平成33年度(2021年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内及び北部一時保育事業の総括 <p>平成34年度(2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育定員目標達成 	
	総合計画		
	1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。		
	基本政策		
1 子育て安心プランの策定・推進 (幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援)			
4	<p>公立認定こども園の適切な運営と適正配置の具体化</p> <p>○公立こども園自己評価や教育保育環境ガイドラインを実施し、教育・保育の質の向上を図ります。</p> <p>○「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画と個別計画について、保護者や住民への説明を行いながら、計画的な再整備を進めます。</p>	<p>平成32～35年度 (2020～2023年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期再整備 <p>平成35年度(2023年度)</p>	
	総合計画		
	1-2-① 保育や幼児教育の充実を進めます。	1-2-②	子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。
	基本政策		
1 子育て安心プランの策定・推進 (幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援)			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
5	<p>子どもの相談支援体制の充実</p> <p>○子ども家庭総合支援拠点の運用を強化するとともに、国における児童相談所機能強化の動向を注視しながら、児童相談所の設置を含めたあるべき姿を検討し、子どもにかかる相談支援体制を整備します。</p> <p>○児童養護施設を活用し、セーフティネット機能をもつ子育て・子育て支援事業の充実を図ります。</p>	<p>～平成34年度（2022年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの相談支援体制の整備 ・児童養護施設を活用した子育て子育て支援事業の充実
	総合計画	
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。	
	基本政策	
0		
6	<p>障害のある子どもへの支援の充実</p> <p>○「障害のある子どもへの支援の基本的な考え方」に基づく具体的な取り組みを進めるとともに、さらなる支援の充実に向けて、取組みの総括を行います。</p> <p>○民間委託事業について、今後の方向性を検証します。</p>	<p>～平成35年度（2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行管理、総括 <p>平成34年度（2022年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託事業の総括
	総合計画	
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。	
	基本政策	
4	児童発達支援の充実（児童発達支援センターの設置など）	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
7	<p>子育て家庭支援の充実</p> <p>○アウトリーチ事業について、専門職による視点を活かしながらより効果的なあり方について検証します。</p> <p>○子育て支援センターほっぺにおいて、民間資源も活用した事業の充実を図り、育児不安や負担感の軽減に取り組みます。</p> <p>○南部コラボ開設に向け、南部の課題に即した事業内容の具体化の検討を進めます。</p> <p>○ひとり親家庭等自立促進計画に基づき、取組みを進めます。</p> <p>○母子父子福祉センターの建て替え工事に向けた調整及び建て替え後の運用についての整理を行います。</p>	<p>平成32年度（2020年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園ごとの報告会等による事業の検証 <p>平成34年度（2022年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部コラボに(仮称)ほっぺ分室開設 <p>～平成35年度（2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進、進行管理 <p>平成34～35年度 (2022～2023年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子父子福祉センターの建て替え
総合計画		
1-1-①	産前・産後の切れめのない支援を進めます。	
基本政策		
1	子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）	